

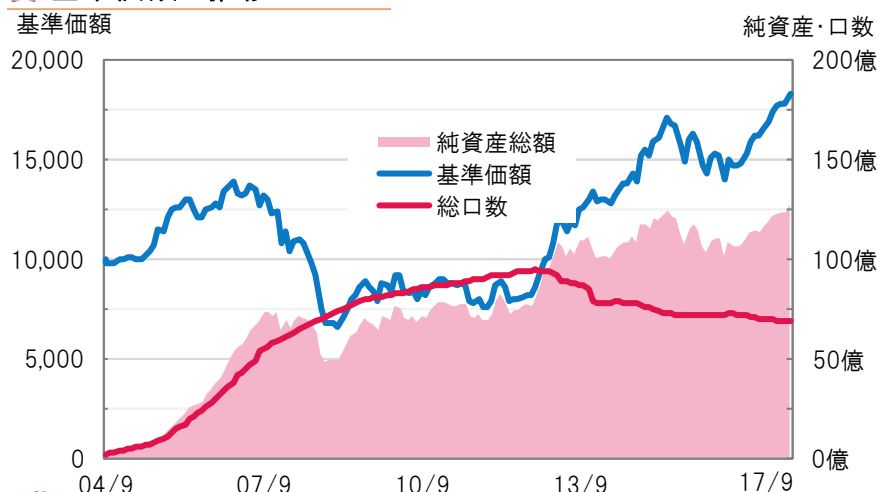
2017
10月

ありがとうファンド 月次運用レポート

第158号②【基準日 2017年9月29日】



基準価額の推移



ファンドの情報

基準価額	18,371円
純資産総額	127億45百万円
口座数	4,727
積立割合	55.4%

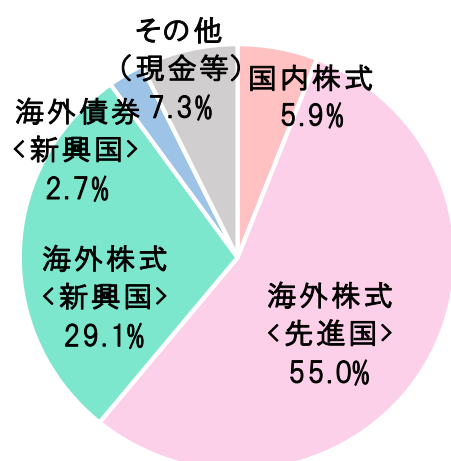


ファンドの騰落率

ファンド/参考指数	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来	年率複利	標準偏差
ありがとうファンド	+2.9%	+3.8%	+10.9%	+24.3%	+28.3%	+124.2%	+83.7%	4.76%	17.5
TOPIX配当込み	+4.3%	+4.7%	+11.8%	+29.3%	+34.3%	+151.2%	+88.4%	4.96%	22.3
MSCI ACWI (世界、円)	+4.3%	+5.5%	+11.1%	+32.6%	+29.3%	+141.5%	+180.0%	8.19%	22.0
MSCI KOKUSAI (日本除く先進国、円)	+4.6%	+5.2%	+10.5%	+32.6%	+30.4%	+151.4%	+190.7%	8.50%	23.2
MSCI EM (新興国株、円)	+1.9%	+8.2%	+16.1%	+36.6%	+19.8%	+79.1%	+258.4%	10.25%	25.8

※「年率複利」は、過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、またお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。「年率複利」と「標準偏差」については、ありがとうファンド設定来(2004年9月1日)からのデータを基に、弊社にて計算しております。参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

資産配分(8月末時点)



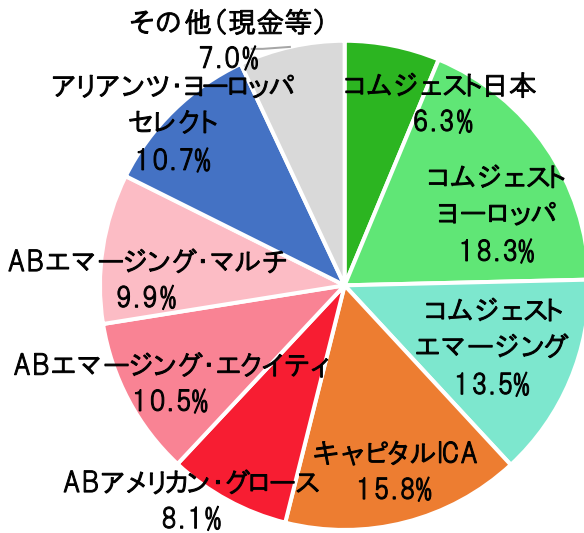
地域・資産	組入比率	基準値	基準比
国内株式	5.9%	6%	-0.1%
海外株式<先進国>	55.0%	58%	-3.0%
海外株式等<新興国>	31.8%	33%	-1.2%
その他(現金等)	7.3%	3%	+4.3%



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

🌸 ポートフォリオ(9月末時点)



🌸 アクティブシェア(8月末時点)

ファンド名(略称)	アクティブシェア※	参考指数
コムジエスト日本株式	87%	TOPIX
コムジエストヨーロッパ	88%	MSCIヨーロッパ
コムジエストエマーシング キャピタルICA	90%	MSCIエマーシングマーケット 開示なし
ABアメリカン・グロース	65%	ラッセル1000グロース
ABエマーシング・エクイティ	76%	MSCIエマーシングマーケット
ABエマーシング・マルチ	株式73% 債券25%(注1)	なし
アリアンツ・ヨーロッパセレクト	69%	S&Pヨーロッパ・ ラージキャップ・グロース

※アクティブシェアとは、各ファンドのベンチマークもしくは参考指数に対して異なる割合を表しています。上記のアクティブシェアは各ファンドの運用会社の開示を基に掲載しています。

注1：ABエマーシング・マルチファンドについては、株式と債券複合の運用で参考指数がないため、参考までに各資産の組入比率を開示しています。

🌸 直近のマーケット動向、ありがとうファンドについて



9月のマーケットはどうでしたか？

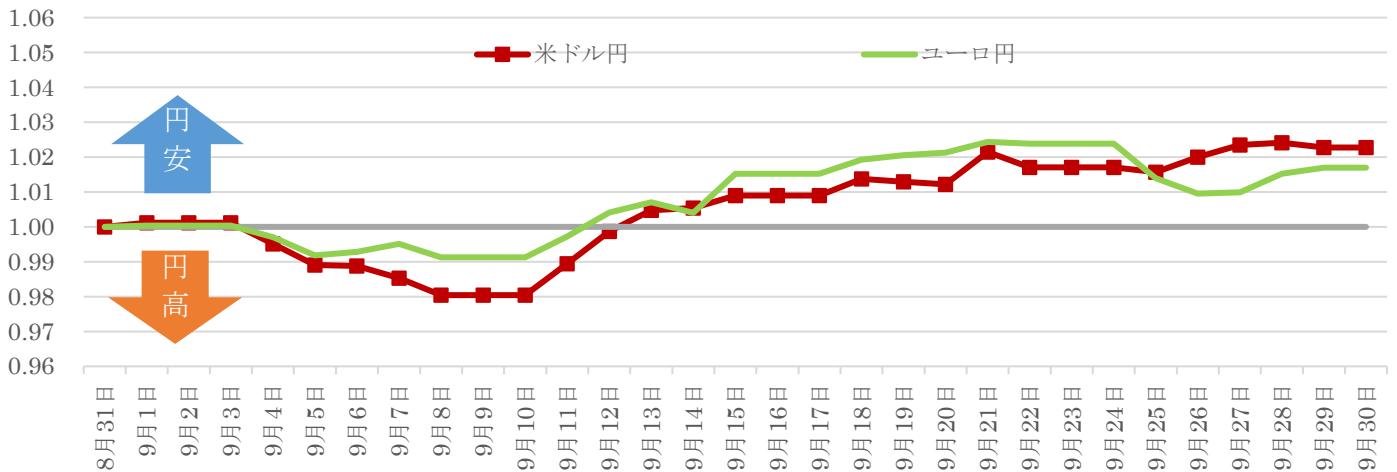


9月のマーケットの動きですが、前月とは異なり先進国株式市場が牽引する一ヶ月になりました。月序盤には北朝鮮が水素爆弾の実験に成功したと発表するなど、世界株式市場は同時株安になりました。その後中盤にかけて北朝鮮ミサイル問題への懸念後退などが好感され上昇に転じました。またECB(欧州中央銀行)が資産買い入れ縮小に向けた議論を開始したと発表し、10月にもその大部分を決定することによりユーロが買われユーロ高が進行しました。後半にかけてFRB(連邦準備制度理事会)がFOMC(連邦公開市場委員会)にて量的金融緩和で膨らんでいた保有資産の縮小を10月に開始することを市場の予想通り決定し、同時に年内もう一度の利上げを検討していることも明らかになり、米ドルが買われ年初から続いていた米ドル安基調から反転する展開になりました。これにより米ドルに対し円安が進み、特に日本株には追い風で月を終えました。

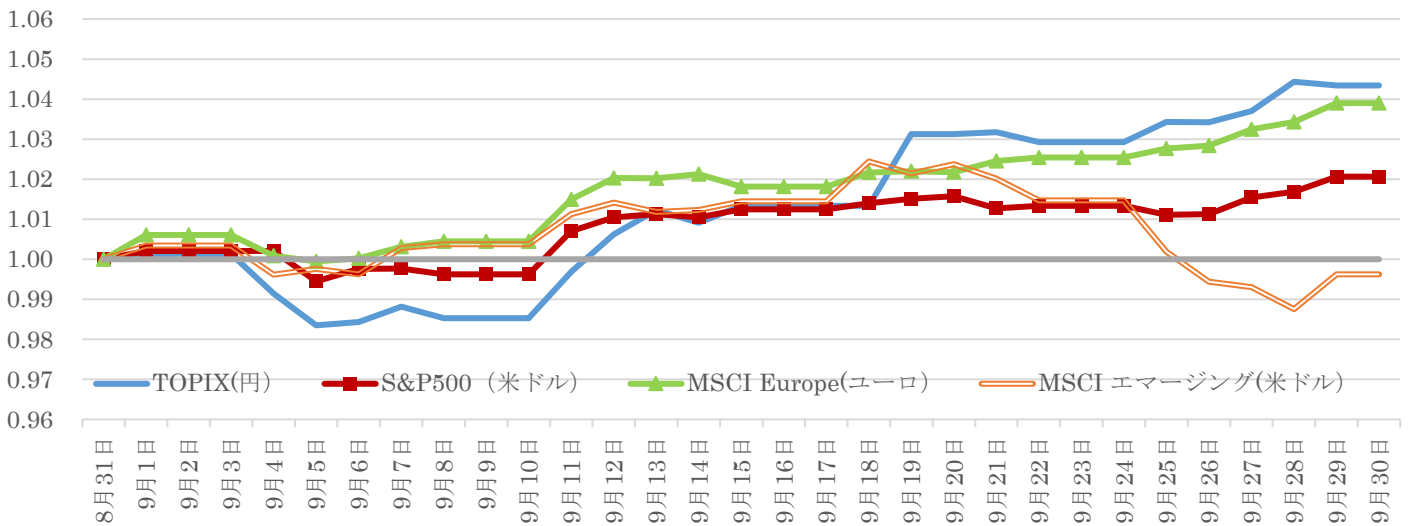
月間の騰落率としては、TOPIX(配当込み)は4.34%の上昇、米国S&P500(配当込み)はドルベースで2.06%の上昇、欧州MSCIヨーロッパ(配当込み)はユーロベースで3.90%の上昇、新興国MSCIエマーシング(配当込み)はドルベースで0.37%の下落となりました。

為替相場は月末時点で、米ドル/円が112円台半ばと前月末比で円安に転じました。ユーロ/円については133円台前半と前月末比で円安がさらに進み月末を迎えました。

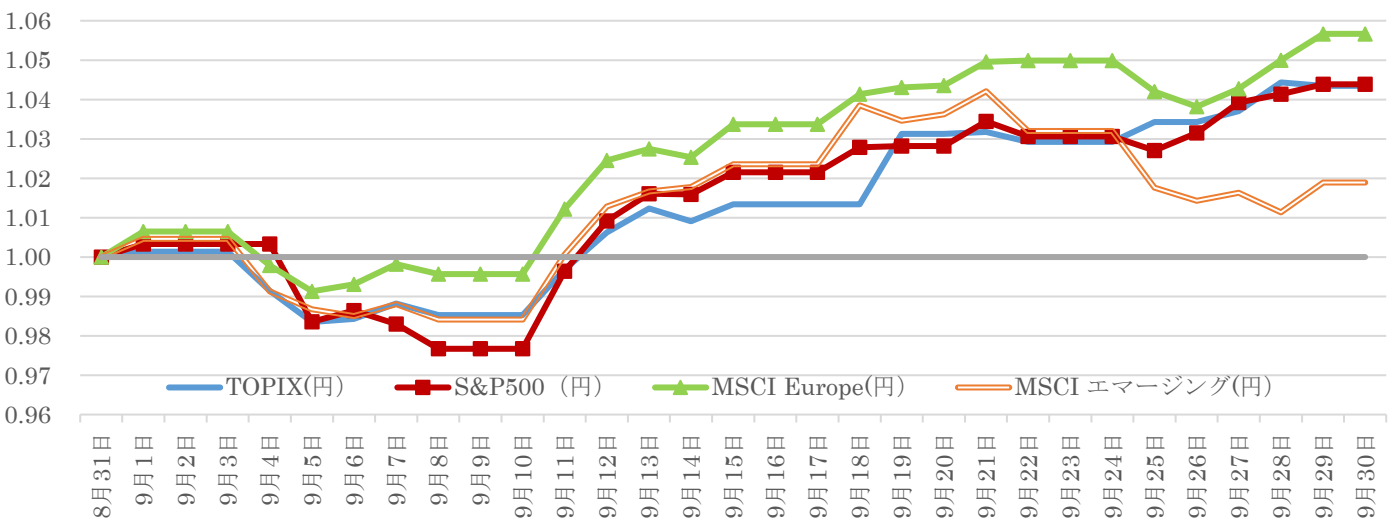
【米ドル円、ユーロ円推移】2017年8月31日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、現地通貨ベース)】2017年8月31日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、円ベース)】2017年8月31日を1として指数化



※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(レポート最終ページに注記があります。)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

上記現地通貨ベースの指数推移を参照して頂くと、今月は最近弱かった日本株の堅調な推移が確認できます。これは米利上げ観測が強まり対米ドルで円安基調に転じたこと、衆議院の解散・総選挙の方針が発表されたことなどに起因すると考えます。



ありがとうファンドの運用はどうでしたか？

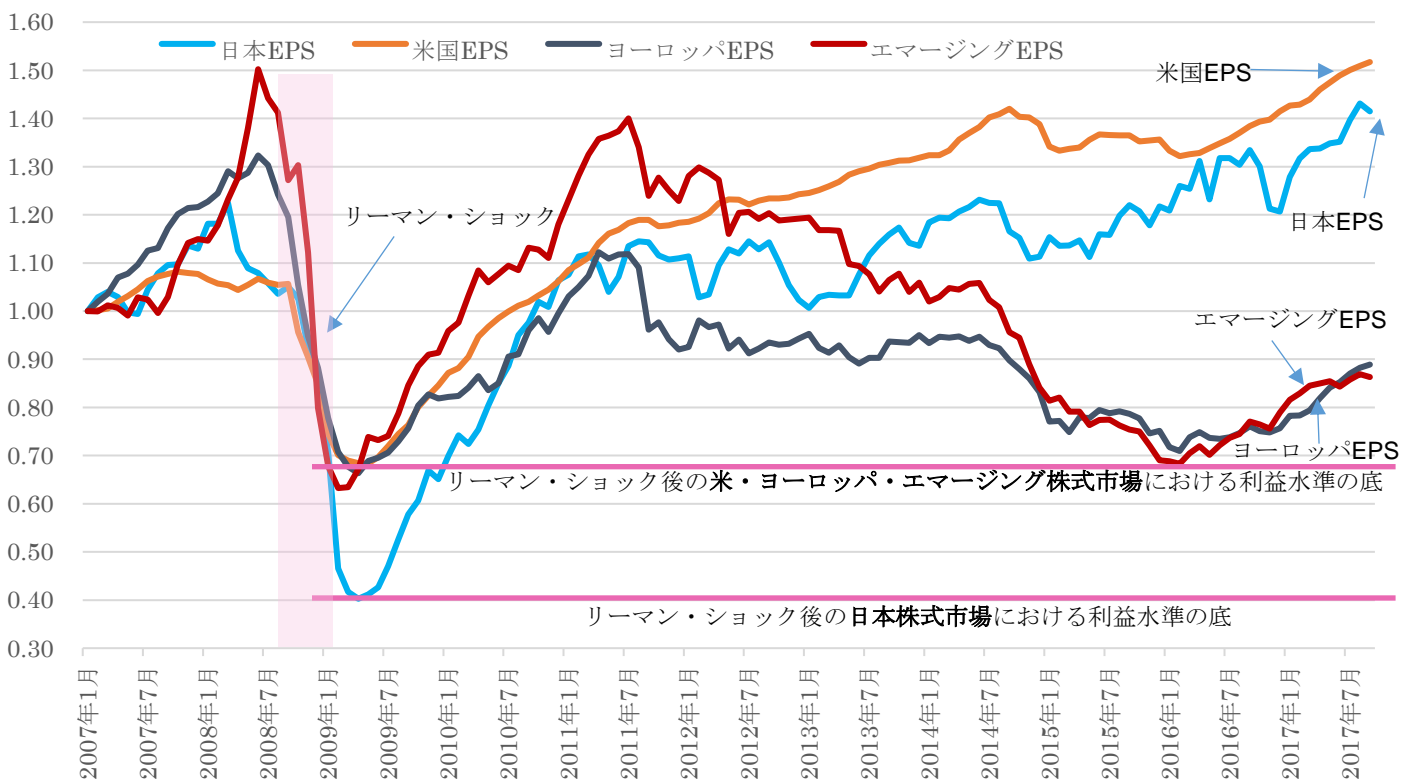
ありがとうファンドの9月月間騰落率は2.9%の上昇となりました。基準価額は上昇したものの、参考指数に対しては低調なパフォーマンスの一ヶ月になりました。

9月中の売買状況については、やや過熱気味な米国株式市場を主な投資対象とするキャピタルICAファンドを一部売却しました。コムジェスト・ヨーロッパファンドについても一部売却しました。



今後の見通しはどうなりそうでしょうか？

今後の見通しについては、北朝鮮問題など一過性のイベントはあるものの世界経済は引き続きリーマン・ショックからの回復・成長が続くと考えています。ファンダメンタルズの改善に基づいた企業利益の成長がより注視される市場になるでしょう。下図ではリーマン・ショック前からの4国・地域のEPS(1株当たり利益)の水準をまとめました。足元5年ほど低迷していたエマージング市場とヨーロッパ市場は底を打ち活気を取り戻しはじめたように見えます。



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、EPSは2007年1月末を1として指数化し2017年9月末までの推移

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

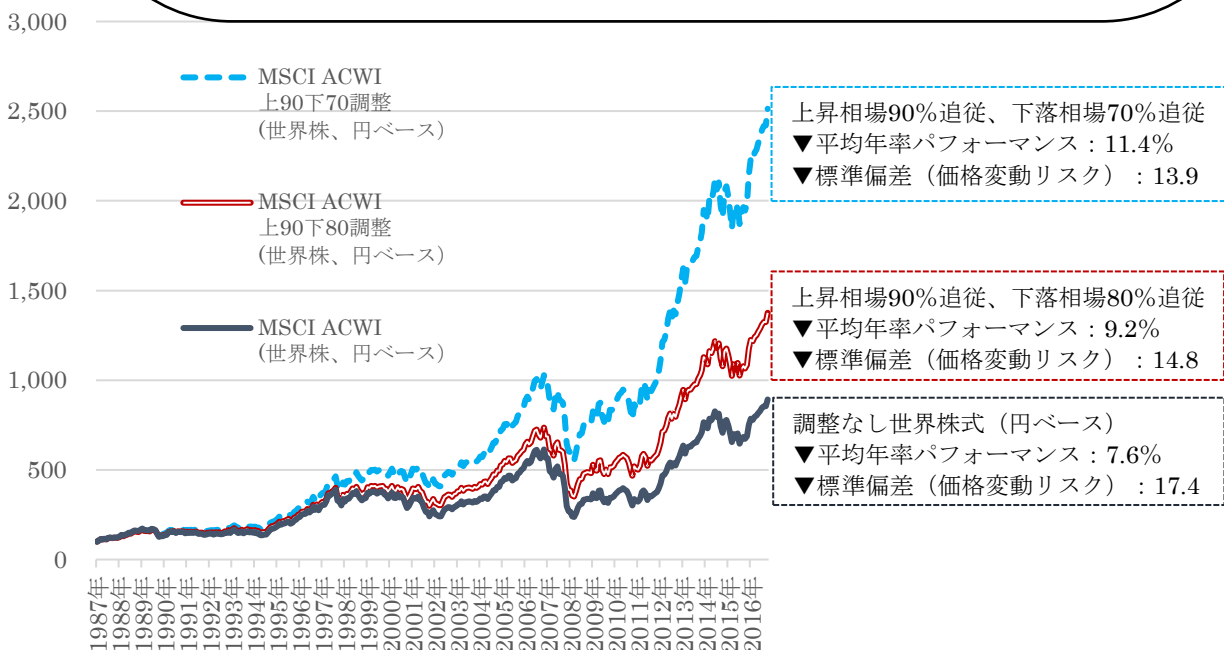
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



今後の運用方針はどうなりそうでしょうか？

株式市場という観点から足元の状況を考えると、リーマン・ショック後各国・地域は量的緩和などの金融緩和で各々の経済・市場を支え世界的にカネ余りの状況が続いています。リターンを求めてやや過熱感のある市場も出てきました。このような環境下では一つの市場だけに投資することはリスクが高く、特定の市場に過度に偏ることなく幅広く分散投資することにより長期的に持続性のあるリターンを享受できると考えております。ありがとうファンドでは、世界経済の成長をグローバル市場で競争力のある企業の成長に沿った形で享受できるよう、国際分散・厳選・長期投資を継続していきます。

アクティブファンドという上昇局面で大きく稼ぐといった様な派手なイメージが強いと思いますが、ありがとうファンドでは上昇局面で無理に上値を狙うといった運用よりは市場全体が下落する局面にて市場相対で下げ幅を抑制することにより結果的に長期で安定したパフォーマンスを提供できると考えております。その源泉としては、実績のある投資先ファンドによる成長企業の厳選、国・地域別資産配分の見直し・調整、今後投資予定の金ETFなど株式市場と相関が低い資産を組み入れることによる資産分散を主に考えております。下図はあくまでも参考までですが、上昇局面では90%ほど市場に追従し、下落局面では下落幅を抑制した場合のバックテスト例になります。ダウンサイドリスクを抑制することにより、長期で価格変動リスクを抑えながら運用パフォーマンスを向上できたことが確認いただけると思います。



パフォーマンス

価格変動リスク

出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、株価は1987年年初を100として指数化し2017年9月末までの推移

注：上昇・下落局面は月次騰落率ベースで判断。平均年率パフォーマンスと標準偏差についても月次ベースのデータから計算

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

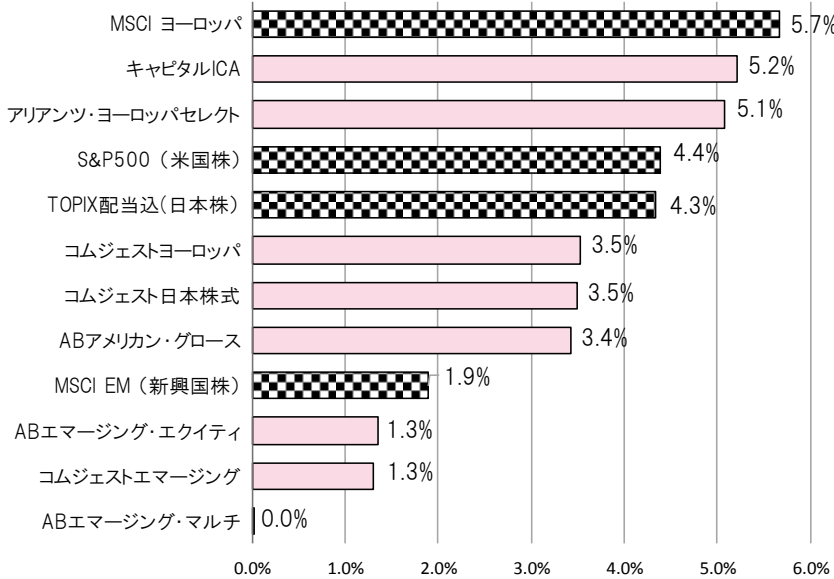


投資先ファンドの状況について教えてください。

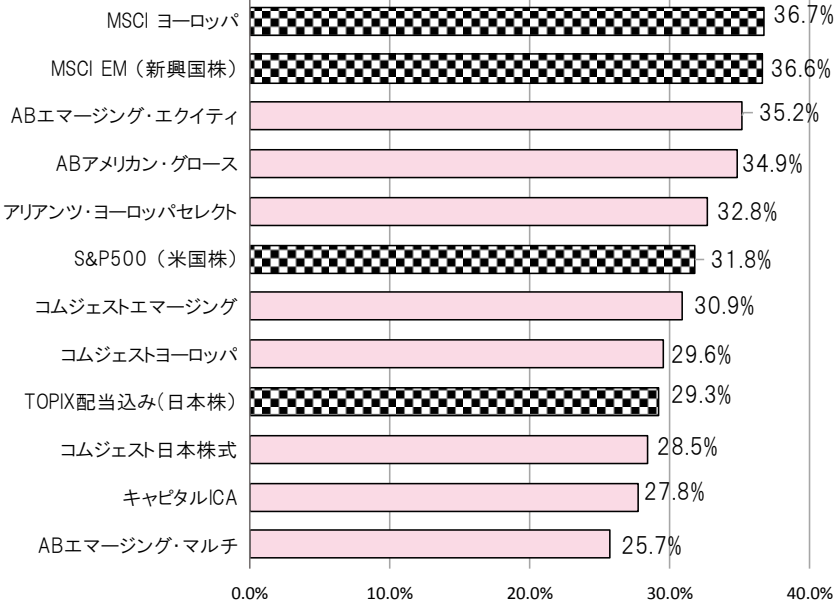


まずは下の投資先ファンドの月間と年間の騰落率(円ベース比較)をご覧ください(2017年9月29日時点)

【月間騰落率】



【年間騰落率】



月間騰落率については、キャピタルICAファンド以外の投資先ファンドが参考指数(円ベース)に対しアンダーパフォームしました。北朝鮮リスクの後退、米金利の年内追加利上げ観測などを受け、前月やや調整していた自動車、金融関連銘柄などに代表される景気敏感銘柄が買い戻された相場になりました。当ファンドの投資先ファンドではこういった銘柄の投資割合を比較的低位に抑えていますので、市場全体と比較して低調なパフォーマンスになりました。また、米国のハリケーン「ハービー」「イルマ」の影響による製油所の停止によってガソリン在庫が減少したことなどによりWTI原油先物価格が徐々に50ドルを超えたこともあり、世界的にエネルギー関連銘柄が強い一ヶ月でした。こちらについてもエネルギー関連銘柄の保有割合が低いため、市場全体の上昇に出遅れる結果となりました。

年間騰落率については、昨年後半のトランプラリーで割安だったエネルギー、金融関連銘柄が買い戻された相場になり、こういった景気敏感株をほとんど保有しない当ファンドの年間騰落率は景気敏感銘柄も含む指数に対しやや低調なパフォーマンスになりました。

※ 上記参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

マーケットが楽観的な時も悲観的な時も、長期投資はじっくりコツコツ続けていくことが大切です！時間を味方につけて、一緒に国際分散投資で資産運用していきましょう！何かご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までお問合せください。（ありがとうファンド運用担当者）



✿ 投資先ファンドの運用パフォーマンス

#	投資先ファンド	主要投資地域	組入比率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	年率複利(5年)
1	コムジスト日本株式	日本	6.3%	+3.5%	+7.6%	+16.3%	+28.5%			
	TOPIX 配当込み			+4.3%	+4.7%	+11.8%	+29.3%	+34.3%	+151.2%	+19.9%
2	ABアメリカン・グロース	米国	8.1%	+3.4%	+5.4%	+13.0%	+34.9%	+51.2%	+205.9%	+24.6%
3	キャピタルICA	米国	15.8%	+5.2%	+3.8%	+6.6%	+27.8%			
	S&P500 (米国、円)			+4.4%	+4.7%	+8.8%	+31.8%	+39.6%	+181.3%	+22.6%
4	コムジスト ヨーロッパ	欧州	18.3%	+3.5%	+4.4%	+15.0%	+29.6%	+32.8%	+132.1%	+18.0%
5	アリアンツ・ユーロラント グロース	欧州	0.0%	+5.6%	+7.5%	+20.1%	+39.4%	+44.6%		
6	アリアンツ・ヨーロッパ セレクト	欧州	10.7%	+5.1%	+5.3%	+16.3%	+32.8%	+31.6%		
	MSCI EUROPE (ヨーロッパ、円)			+5.7%	+6.7%	+15.9%	+36.7%	+18.7%	+122.3%	+17.0%
7	コムジスト エマーゼン	エマーゼン	13.5%	+1.3%	+5.7%	+12.6%	+30.9%	+22.4%	+99.7%	+14.6%
8	ABエマーゼン ・エクイティ	エマーゼン	10.5%	+1.3%	+6.7%	+13.7%	+35.2%	+29.0%		
9	ABエマーゼン ・マルチ	エマーゼン	9.9%	+0.0%	+3.4%	+8.6%	+25.7%	+24.0%	+77.9%	+12.0%
	MSCI EM (新興国株、円)			+1.9%	+8.2%	+16.1%	+36.6%	+19.8%	+79.1%	+12.1%

注：参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

アリアンツ・ユーロラントグロースについては、2017年9月末時点ではまだ保有していませんが、今後徐々に買付けを検討しているため参考までに記載しております。

積立投資のメリット



◆ 取得単価を平準化

◆ 時間分散でリスクを低減

◆ 長期で投資を継続しやすい

各投資先ファンドの組入銘柄 TOP5

◎コムジェスト日本株式ファンド

マザーファンド株式組入上位5銘柄				9月29日時点	
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 ダイフク	日本	資本財・サービス	立体自動倉庫やコンベヤなど、搬送・仕分け・ピッキング・保管に用いられるマテリアルハンドリング(=マテハン)システム・機器のメーカーで、世界でもトップクラスのシェアを持つ。	5.8%	
2 キーエンス	日本	情報技術	FA(ファクトリーオートメーション=工場自動化)用センサーをはじめとする各種センサー、測定器、画像処理機器、制御・計測機器、研究開発用解析機器などの開発、製造、販売を行う。	5.4%	
3 日本電産	日本	資本財・サービス	精密小型から超大型までの幅広いラインナップを誇るモータ事業を中心に、モータの応用製品・ソリューションも手がける。既存事業による成長と積極的なM&A戦略が基本。	4.0%	
4 ファナック	日本	資本財・サービス	工作機械などに搭載されるCNC(コンピューター数値制御)装置の世界トップシェアメーカー。	3.9%	
5 ポーラ・オルビスホールディングス	日本	生活必需品	大手化粧品会社グループ。高級スキンケア中心のポーラ、オイルカット(無油分)コンセプトに基づく中価格帯スキンケア中心のオルビスを主軸に、複数ブランドを展開する。	3.7%	

◎ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA

マザーファンド株式組入上位5銘柄				9月29日時点	
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 インディテックス	スペイン	一般消費財・サービス	日本ではZARAで有名、世界のファッション・アパレルのリテンディングカンパニーの一つ	6.5%	
2 アマデウスITグループ	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラベルテクノロジー企業	6.0%	
3 エシロールインターナショナル	フランス	ヘルスケア	光学製品メーカー、世界56か国に展開、遠近両用レンズのVariluxで有名	4.7%	
4 コロプラスト	デンマーク	ヘルスケア	1957年にデンマークで誕生したグローバルヘルスケア企業、スポーツ用品に強み	4.4%	
5 ダッソー・システムズ	フランス	情報技術	フランスで最大、EUでもトップ3に入る規模の大手ソフトウェア会社	4.3%	

◎ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA

マザーファンド株式組入上位5銘柄				9月29日時点	
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 台湾セミコンダクター(TSMC)	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	4.9%	
2 チャイナ・ライブ(中国人寿保険)	中国	金融	中国北京に本社を置く生命保険会社、中国各地に代理店網を形成	4.1%	
3 パワーグリッドコーポレーションオブインド	インド	公益事業	インド内での送電事業、電気通信事業、送電通信コンサルティング事業を主とする企業	3.8%	
4 インナ・モンゴル・イーリー・インダストリアル・グループ	生活必需品	中国	乳製品メーカー。牛乳、粉末乳、アイスクリーム、その他の乳製品を製造。冷凍食品および麺製品も製造。	3.7%	
5 エムティーエヌ	南アフリカ	電気通信サービス	通信サービス会社。地域、国内および国際通信サービスのほか、ブロードバンドやインターネットサービス、固定通信と移動通信の融合製品やサービスを提供する。	3.5%	



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◎キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ(ICA)

株式組入上位5銘柄					8月31日時点
	銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	AbbVie	アメリカ	ヘルスケア	研究・開発に重点的に取り組むバイオ医薬品会社。幅広い独自医薬品の発見、開発、製造、販売を行う。	5.0%
2	VERIZON COMMUNICATIONS	アメリカ	電気通信サービス	世界最大級の電気通信事業者、150か国以上に展開、NYダウ30採用銘柄	2.9%
3	AMGEN	アメリカ	ヘルスケア	DNA組換えや分子生物学的技術を軸とした世界的バイオ医薬品メーカー	2.5%
4	AMAZON	アメリカ	一般消費財	オンラインの小売事業者。オンライン広告や提携クレジットカード契約など、他のマーケティングや販売促進サービスも提供する。	2.3%
5	MICROSOFT	アメリカ	情報技術	Windowsに代表される基本ソフト(OS)を開発し、各種デバイス(PCやタブレット他)、サーバ、携帯電話、インテリジェントデバイス向けに提供。また、パソコン、タブレット、携帯電話、ゲーム機などの製品も開発、販売している。	2.2%

◎アライアンス・パースタイン-アメリカン・グロース・ポートフォリオ

組入上位5銘柄					8月31日時点
	銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	ALPHABET, INC.	アメリカ	テクノロジー	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	8.2%
2	FACEBOOK, INC. Class A	アメリカ	テクノロジー	SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス=交流サイト)の「フェイスブック」を運営。利用者は、「フェイスブック」を利用することで、家族や友人と情報を共有したり、コミュニケーションをとることができる。	7.5%
3	VISA, INC. Class A	アメリカ	金融サービス	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高速かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結び役割を果たす。	5.5%
4	APPLE, INC.	アメリカ	テクノロジー	モバイル通信機器、メディア機器、PC、携帯音楽プレーヤーの設計、製造、販売を手掛ける。	5.0%
5	UNITEDHEALTH GROUP, Inc.	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ソフトウェア、データコンサルティングサービスを提供する。	4.3%

◎アライアンス・パースタインSICAV I -エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ

組入上位5銘柄					8月31日時点
	銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	4.1%
2	ERSTE GROUP BANK AG	オーストリア	金融	銀行業および金融サービスを提供。リテール/中小企業部門、企業・投資銀行部門、マーケット部門、本社部門の4主要部門から事業を構成。	3.4%
3	TENCENT HOLDINGS LTD.	中国	情報技術	中国のインターネットサービス会社の大手。ソーシャルプラットフォームを運営するほか、デジタルコンテンツサービスを提供する。VAS(付加価値サービス)、インターネット広告、その他の3セグメントで事業を展開。	3.2%
4	POWSZECHNY ZAKLAD UBEZPIECZEN SA	ポーランド	金融	ポーランド最大手の保険会社。	3.2%
5	KB FINANCIAL GROUP INC.	大韓民国	金融	KB国民銀行、KB国民カード、KB投資証券、KB生命、KB資産運用などの子会社を通じて、総合的金融サービスを提供する持株会社。	3.0%

◎アライアンス・パースタインSICAV I -エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ

組入上位5銘柄					8月31日時点
	銘柄	国	業種・種類	債券格付け、事業内容など	組入比率
1	KINGBOARD CHEMICAL HOLDINGS LTD.	香港	加工業	化学メーカー。子会社を通じ、ラミネート、銅箔、ガラス布、ガラス系、さらしクラフト紙、プリント回路基盤、その他化学品を製造する。	3.3%
2	YANGZIJIANG SHIPBUILDING HOLDINGS	中国	資本財	造船メーカー。商船、小型バラ積み船、多目的貨物船、コンテナ船、ケミカルタンカー、海洋補給船、救助船およびクレーン船などのさまざまな種類の船舶を製造する。	2.7%
3	MARUBENI CORP.	日本	資本財	総合商社としては、比較的バランスのとれた事業ポートフォリオを持つ。強みを持つ分野は、資源・エネルギー分野で銅の上流権益、食料で穀物分野、海外電力事業など。	2.4%
4	WOORI BANK	大韓民国	金融	個人向けや商業銀行業務を提供する。具体的なサービスとしては、インターネットバンキング、預金、ローン、生命保険、為替取引、ファンド、年金、クレジットカード、資本市場関連業務、国際金融、資産管理など。	2.1%
5	SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	1.9%

◎アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト

組入上位5銘柄					8月31日時点
	銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業。数多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	6.9%
2	INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティ向けの半導体やシステムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティ、その他の各部門を通じ事業を展開。	5.0%
3	PRUDENTIAL PLC	イギリス	金融サービス	保険と金融サービスを手がける持株会社。アジア、米国、英国で主要な活動を行う国際金融サービスグループとして、リテール向けの金融商品・サービスと資産運用サービスを提供する。	4.9%
4	NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	ヘルスケア	90年以上にわたり糖尿病ケアの革新をリードしてきた製薬会社。インスリンのマーケットシェアは5割前後に至る	4.7%
5	RECKITT BENCKISER GROUP PLC	イギリス	生活必需品	家庭用品、ヘルスケア・パーソナルケア用品を製造・販売。地域別のセグメントは、欧州・北米・中南米・北アジア、東南アジア・オーストラリア・ニュージーランド、ロシア・CIS、中東、北アフリカ、サハラ砂漠以南のアフリカなどがある。	4.6%

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうトピックス



『アクティブシェアについて』

ありがとう投信株式会社
ファンドマネージャー 真木 喬敏



皆様、いつも大変お世話になっております。今月のありがとうトピックスでは、最近月次レポート2ページ目で開示を始めたアクティブシェアについて簡単に説明させていただきます。

一言で言ってしまえば、アクティブファンドの保有銘柄がベンチマーク(もしくは参考指数)とどれだけ異なるかを表しているパーセンテージです。例えば、ありがとうファンドの日本株部分を担当しているコムジェスト日本株式ファンドのアクティブシェアは8月末時点で87%ですので、参考指数と比べて87%構成内容が異なることを意味します。この差はまず TOPIX の構成銘柄数が2020社(8月末時点)であるのに比べて、コムジェスト日本株式ファンドの保有銘柄数は37銘柄(8月末時点)に厳選集中投資をしていますので、銘柄数だけみても87%という違いのほとんどを説明できると思います。もう一つこの差異を説明する要因があり、それは同一銘柄の保有割合の違いです。例えばコムジェスト日本株式ファンドの8月末時点の組入銘柄で最も多く保有している銘柄は東証一部に上場している株式会社キーエンスでした。保有割合は5.4%と TOPIX 内での保有割合1.11%と比べると多く保有していることがわかると思います。このように、たとえ参考指数と同じ銘柄を組み入れていた場合においても保有割合の差についてはアクティブシェアとしてカウントされるのです。

アクティブシェアが高いから成績が良い悪いということではなく、あくまでも参考指数に対してどれだけ異なる構成かを表しているに過ぎません。重要なのはなぜ異なるのかという点です。この点についても、コムジェスト日本株式ファンドを例に説明しますと、コムジェスト・アセットマネジメントの投資哲学として長期的に企業利益を二桁成長できると考えられるクオリティグロース企業に投資するという大前提があります。したがって、継続的に成長しないと考えられる企業は投資対象にならないのです。それは、簡単に言うと景気サイクルの変動に対して業績が大きく振れてしまいう景気敏感銘柄などには原則投資しない、もしくは保有割合を低位に抑えることを意味すると考えます。例えばコムジェスト日本株式ファンドでは銀行業の銘柄は一つも保有していません(8月末時点)。これは、銀行の本業である貸付業務などは景気の良し悪しに大きく影響を受けますし、マイナス金利が導入されている日本では銀行の利ザヤを確保するのが難しく、銀行業が置かれている構造的な環境からも企業利益の継続的な成長は見込めないことが大きいと考えます。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

もう一つ景気敏感銘柄の代表格といえば自動車関連銘柄があります。日本の自動車セクターは古くから日本の輸出業の花形産業で日本経済を支えてきた重要な産業ではありますが、同時に為替相場の影響を大きく受けるビジネスモデルになっています(最近では海外現地生産・販売も増えてきて、為替の影響は以前と比べると小さくなってきたようです)。為替は短期で大きく変動することが多く、それ自体の予測は困難であり、持続的な成長の根拠としては難しい要因の一つです。8月末時点でコムジェスト日本株式ファンドにおける日本の自動車銘柄はスズキ株式会社のみです。同社はマルチ・スズキ・インディアという子会社をインドに有しており、人口・労働人口増加などに伴う自動車の販売の伸びしろは、米国、欧州を主な輸出・販売先としている他の大手日系自動車メーカーに比べて成長の確度が高く、投資妙味があると考えて保有していると考えます。ひとえに自動車関連銘柄は景気敏感銘柄が多いので投資対象に全くしないということではなく、成長を裏付けるドライバーがあるのであれば投資対象になるといった例でした。

こういった投資哲学を基に銘柄選択を行った結果としてアクティブシェアが大きくなっただけで、アクティブシェア自体の高い低いそれほど重要ではないと考えております。新体制以降新たに採用したアライアンス・バーンスタイン、アリアンツ・グローバル・インベスターズのファンドについても、新ファンド紹介セミナーなどを通して個別銘柄の説明を交えてできるだけわかりやすく投資哲学を説明してきました。今後また改めて各ファンドの投資哲学について徹底解説するセミナーなど企画できればと考えておりますので、開催の際は是非ご参加検討いただけますと幸いです。

🌸 ありがとう 39 クッキング

読書の秋、食欲の秋、スポーツの秋とさまざまなことにチャレンジする季節がやってきました。とりあえずおなかを満たしてからということで、今月は食欲の秋にふさわしいレシピを紹介させていただきます。

皆さん秋の味覚と言えれば何を思い浮かべるでしょうか？松茸が真っ先に浮かんだ人はうらやましい限りです・・・ちゃんとした松茸なんて食べた記憶がございません・・・私の頭の中では秋の味覚と言えれば秋刀魚でした。今年の秋刀魚は不漁のせいで値段が高いとニュースで報道されていたのであらかじめでしたが、先日北海道の父から大量の秋刀魚が送られてきました。事前に何の連絡もなく、家に帰ると保冷郵便物の不在連絡票があったので急いで取りに行きました。刺身にしたり、焼いてみたり、竜田揚げにしてみたりと飽きないように色々工夫して調理したところ、秋刀魚の炊き込みご飯が一番おいしかったので皆様も時間があれば試してみてください！

▼材料(2人前くらい)

- 白米 2合
- 秋刀魚 2匹
- 舞茸(お金もちの方は松茸でも可)少々
- 生姜 少々
- あさつき 少々
- 醤油 小さじ2程度
- みりん 小さじ2程度



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

① 秋刀魚を三枚におろします。

魚をおろしたことが無い方にはなかなかハードルが高いと思いますが、最近は You Tube などの動画サイトなどで検索すると懇切丁寧に説明してくれている動画がございますので、そちらを参照された方が早いと思います。慣れると楽しくなってきますので、チャレンジしてみてください。三枚におろした後に、身に小さな小骨が残ると思いますが、こちらはそのまま大丈夫です。



② 焼きます。

皮の面に塩を少々ふりかけて、通常の魚焼き器で焼きます。皮に焦げ目がつくまで焼くと、炊き込んだときに香ばしくなります。

③ 焼いている間に生姜を千切りにして、舞茸もほぐしてばらばらにします。

生姜は皮をむき千切りにします。秋刀魚の生臭さを緩和してくれます。

④ 炊きます。

白米をとぎ、醤油(適量)、みりん(適量)、生姜の千切り、舞茸、焼いた秋刀魚を写真の様にのせて、炊き込みます。

炊いている間にあさつきを小口に切りましょう。あさつきは長ネギでも大丈夫です。



⑤ 炊き上がったら、よく混ぜます。最後にあさつきをふりかけて完成です！

私はおにぎりにして、翌日のランチにしました。好みですが、人参を細かく切って炊き込むと色鮮やかになると思います。



◆記載内容について：資料に記載されている個別の銘柄・企業については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。

🌸 ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはおお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.972% (税抜 0.9%) の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.6% ± 0.2% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信(株)カスタマーサービス部まで。【〒110-0005 東京都台東区上野 3-19-4 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

